

令和7年度 第2回湖南市文化財保護審議会 議事録

日時	令和7年12月16日（火）14:00～16:00
場所	湖南市共同福祉施設（サンライフ甲西）2階大ホール
出席者	【委員】6名（1名欠席） 【事務局】青木部長、野崎次長、谷口課長、堤課長補佐、滝主査、守武主任技師
議題	●報告事項（1）（2）（3） ●協議事項（1）（2） ●その他
傍聴者数	0
担当部署 (事務局)	湖南市環境経済部 商工観光労政課 文化財振興係 TEL: 0748-71-2331

●開会のあいさつ

●報告事項

（1）長壽寺三重塔跡測量調査

- ・過去の図面と現況とで礎石の位置に齟齬がみられたため再調査を実施。平面図の作成に併せて礎石周りの精査と遺物の表面採集を行った。
- ・調査は10月18日（土）と23日（木）の2日間、滋賀県立大学考古学ゼミの協力により実施。18日は文化財講座として一般公開を行い、貴重な文化財調査の機会に触れていただいた。

（2）石部装荷線輪用櫓の記録保存調査

- ・旧通信省により設置された装荷線輪用櫓について、湖南市に存在した2件のうち三雲にあるものが7月ごろ撤去された。所有者の意向により石部のものも撤去が決まっており、記録保存のため調査を行った。
- ・10月中旬までに現地測量とドローンによる撮影を実施。21～22日には解体工事が実施されたが、立ち会いと撮影の許可をいただき、鉄筋の内部構造や地中の基礎を確認できた。

（3）木造地蔵尊立像の修繕事業について

- ・市指定文化財の木造地蔵尊立像について、所有者（柑子袋区）が移設を計画している。保管されている上葦穂神社の地蔵堂が老朽化しており、隣接建物を改装して像を移動する予定。また、専門家や修理業者に現地確認いただいたところ、像そのものも修理するのが望ましいとの意見をいただいた。来年度の指定文化財修理事業として市から補助金を交付する予定。

（委員）

- ・輪用櫓の撤去については民間事業のことであり残念だが致し方ない。県内では膳所などにもあったとのことで、資料が残っていない場合も多いが追跡調査の余地はあるかもしれない。
- ・長壽寺三重塔跡の礎石について、旧の図面とのズレの程度とできればずれた原因も確認いただきたい。

●協議事項（1）湖南市文化財保存活用地域計画について

（事務局）

10月20日（月）に第4回の策定協議会を開催し、アンケート・ワークショップの結果報告、素案第3章までの内容修正と6章までの概要について協議した。今後も情報収集に努め、1月21日（水）と2月9日（月）に協議会を開催し、素案をまとめていく。

（委員）

- ・「修繕」という言葉は条例等に合わせ「修理」とした方が適切。
- ・滋賀県の方で文化振興基本方針が策定される。県の施策は市町にも影響する可能性があり動向に注視を。
- ・地域計画を作成し調査を進める中で、資料を収集するがあれば収蔵スペースが不足してくる。図書館を利用する傾向もみられるが、資料を保管する役目は本来博物館・資料館のもの。雨山の歴史民俗資料館を周知する良い機会でもある。
→資料館整理の他、市内各地で保管している文化財についても所在を再度確認する必要がある。
- ・情報発信について、昔は広報誌に文化財の紹介記事を毎号掲載していたが、そういう活用はいかがか。また、他市では博物館でのトークショーや子ども向けのフィールドワークといった取り組みもある。

●協議事項（2）

【審議中の案件につき非公開】

●その他：文化財行政の移管について

（事務局）

「湖南市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」を廃止し、文化財部局を教育委員会に戻す方向で動いている。12月議会で可決されたら4月から移管する。

～終了～